

クワ (ヤマグワ)

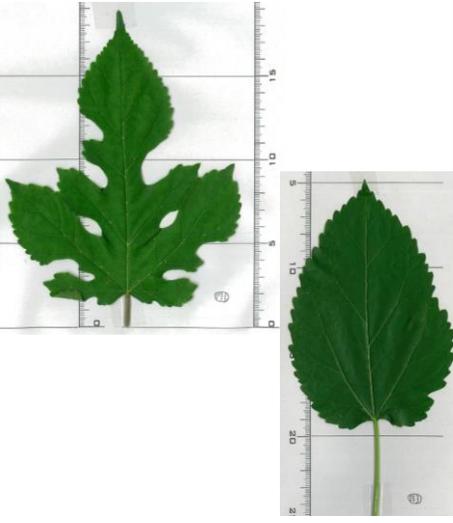
【 区画⑳(153), ㉗(171) 】

がくめい 学名	<i>Morus australis</i> Poir.	ぶんるい 分類	クワ科クワ属
ぶんぷ 分布	ほっかいどう おきなわ 北海道～沖縄	じゅこう 樹高	3～5m, 時に10m以上の落葉小高木

〈 特徴等 〉

なまえのゆらい 名前の由来	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食葉であるとし、蚕葉の転じたものである。 ・ カイコの食う葉という意味である。 		
はのてい 葉の特徴	① 常緑 ・ 落葉	② 広葉 ・ 針葉	
	③ 対生 ・ 互生	④ 単葉 ・ 複葉	⑤ 鋸歯縁 ・ 全縁
かいかう 開花等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月に淡黄色(薄い黄色)の小花を開く。 		
けつじつ 結実等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 果実は6～7月に、赤色→黒色に熟し食べられる。 		
そのほか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼木では分裂葉ばかりだが、5m以上になるとほとんどが不分裂葉になる。 ・ 本種の野生型をヤマグワといい、強いて分ける必要はない。 		

〈 写真 〉

		
じゅもく 樹木 (5/12)	じゅひ 樹皮 (4/3)	はのつきかた 葉の付き方 (5/12)
		
は 葉 (6/12)	はな 花 (/)	かじつ 果実 (実) (/)

〈 参考文献 〉 牧野富太郎(2017)『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p.656.
林 将之(2018)『葉で見わかる樹木 増補改訂版』小学館, p.192.